

天文教育

2011

1

Japanese Society for Education and Popularization of Astronomy



<投稿> 森本おじさん さようなら 他

<連載> 最新宇宙誌／ 恒星天文学の源流／

小惑星探査機「はやぶさ」の感動から天文教育へ

天文教育普及研究会

本誌原稿募集のお知らせ

編集部では下記の原稿を募集しております。会員の皆様からの活発なご投稿をお待ちしております。

1. **原著論文**：天文教育・普及について、オリジナル性があり考察が優れ、学術論文として主な内容が印刷発表されていないもの。表題、アブストラクトには英文も付けてください。
2. **解説記事**：天文学や天文教育・普及に関する解説・紹介記事。分量は刷り上がりで6～10ページ程度。
3. **各種の報告など**：支部会やワーキンググループの活動報告、各種のイベントの報告、また天文教育・普及に関する授業の実践例など。分量は刷り上がりで2～4ページ程度。
4. **書評**：天文学や天文教育・普及に関する書籍の紹介。分量は刷り上がりで1ページ程度。
5. **会員の声**：会員の皆様からのご意見・ご感想など。分量は刷り上がりで1ページ程度。
6. **表紙の写真**：タイトルと400字以内の「表紙の言葉」とともにご投稿ください（写真のみでも構いません）。
7. **情報コーナー（各種会合・イベントの告知など）**：支部会やワーキンググループの会合、また天文学に関する各種の会合・イベントなどの情報。分量は任意ですが、スペースの関係で適宜省略させていただく場合があります。会合・イベントの開催日と会誌の発行日（奇数月下旬）にご留意ください。

・**締め切り**は1～3は原則として奇数月末日、4～7は偶数月15日。投稿先は post@tenkyo.net です。

・**広告掲載**を希望される方は事務局 (jimu@tenkyo.net) までお申込みください。掲載料はB5判1ページ ¥20,000-、半ページ ¥12,000-、1/4ページ ¥7,000-、チラシの折り込み ¥20,000-です。

本誌に掲載された記事は、1年後以降に当会ホームページ (<http://tenkyo.net/>) にてpdfファイルの形で一般に公開することを予定しております。インターネットでの公開に差し障りのある場合はご投稿の際にその旨ご連絡ください。

【編集委員会からのお願い】

『天文教育』の編集は、すべて会員からなる編集委員によって行なわれています。ご投稿の際には以下の点についてご協力いただけますようお願いいたします。

- ・原稿の投稿は、原則としてMicrosoft Wordファイルでお願いします。
- ・執筆用のテンプレートがホームページ (<http://tenkyo.net/>) からダウンロードできます。できるだけこのテンプレートをご利用くださるようお願いいたします（執筆上の留意点なども記しています）。
- ・十分に推敲を重ねた完全原稿でご提出ください。分量や内容によっては手直しいただく場合もあります。
- ・提出データは必ず各自でバックアップしておいてください。
- ・Word以外に一太郎ファイルやテキストファイルでも受け付けております。
- ・原稿のご投稿やご質問は電子メールにて、下記のアドレスへお願いいたします。

投稿先・質問先 メールアドレス：post@tenkyo.net、FAX：0566-26-2624

表紙の言葉

「はやぶさ」の最期の輝き

2010年6月13日22時50分より3分間の固定撮影。

Canon EOS5D Sigma15mm (F=2.8) 対角魚眼。

南オーストラリア州、クーパービディ西部20km

(中央発光点より直線距離で約100kmの地点)

「はやぶさ」の大気圏突入に伴う流星的発光現象の観測のため、高感度ビデオカメラや分光装置などを予想発光点に最も近いオーストラリア南部の町に持ち込んだ。6月13日22時51分50秒、南天の南十字星が輝く星空の下、「は

やぶさ」本体とカプセルが大気圏に突入した。直後に、緑色に輝く「はやぶさ」本体が明るくバーストし無数の破片を撒き散らした。そのわずか手前に、小さな「はやぶさ」カプセルが飛んでいる。この瞬間、「はやぶさ」が無事カプセルを送り届けたことを確信した。いま、飛行機の中でカプセル回収のニュースを聞いた。この「はやぶさ」の最期は、まさに日本の惑星探査の新しいスタートだ。

撮影と文

大西浩次@国立天文台はやぶさ大気圏再突入観測隊

(2010年6月14日、帰国途上の飛行機の中で記す)